

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	ENBDチューブの先端形状による自然逸脱頻度の検討
該当者	2020年1月1日から2020年12月31日までのあいだに、当院で内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術を施行した方
当院の研究責任者	消化器内科 赤松学
研究代表者	消化器内科 赤松学
本研究の目的	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(ENBD)は胆管炎や閉塞性黄疸に対して一般的に行われている治療であるが、チューブの形状によって自然逸脱の頻度に差があるのかどうかを明らかとする。
実施予定期間	2020年1月1日～2020年12月31日
研究の方法	この調査では、基本的に当院での入院治療において、2020年1月1日から2020年12月31日までの間に、内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(ENBD)による治療を行われた方の電子カルテに記載のある診療情報から調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、診断、治療経過、合併症
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果をJDDW 2022（第30回 日本消化器関連学会週間）で公表する予定です。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	消化器内科 赤松学 023-685-2626